

授業科目名	表現（パフォーマンス）演習	単位数	2
担当教員名	キャンヒロユキ（喜屋武浩行）	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）	大学在学中より、沖縄初の放送作家として活動。その後、（株）吉本興業養成所東京NSCで学び、放送作家・脚本家・演出家としてテレビ・ラジオ・舞台・CM企画・脚本・制作に携わるほか、NSC沖縄講師として芸人らの指導を行う。		
「学位授与の方針」との関係 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。			
授業の到達目標及びテーマ お笑い・漫才のネタから学ぶ、より興味を引く表現構成、表現方法。			
授業の概要 現役高校教師であり、現在よしもとの養成所でネタ講師を担当する放送作家が「お笑い・漫才の構成」や、「ツカミ」「コナシ」「オチ」などの表現方法を紹介。また過去の漫才コンテストから、話題の進行・話し方による観客の興味を引く方法を分析し、より興味を引く表現の構成および表現方法を楽しく体験しながら学ぶ。			
授業計画 <学修の流れ> スクーリング前にレポートを作成、事前に提出する。 <学修の進め方> ① 事前にお笑いネタ・漫才を視聴し、感想レポートを作成する。 ② スクーリング内で、資料・DVDを参考に、楽しみながらお笑いの構成を学ぶ。 ③ 実際に漫才の穴あき台本を用いて、漫才を作成する。 <科目修得試験> 講義内容をふまえてレポートを作成、提出する			
スクーリングでの学修内容： 1：お笑いの分類として　2：お笑いの構成3原則 3：テレビ・ラジオ番組の構成　4：本質を知り、伝える言葉　～キャッチコピー～ 5：漫才・コントの本質とは？　6：「M-1グランプリ」による漫才の変遷・発明 7：漫才を作ってみよう。 8：総評・より生徒の興味をひく講義構成、表現方法とは。 を学び、感想をまとめる。			
テキスト こちらで作成した資料を使用します。 ※スクーリング中に配布します。			
参考書・参考資料等 (1) M—1グランプリ2008　2010　2016　2017　2018　2019 DVD他 (2)「別役実のコント　不条理のお笑いレッスン」白水社(2003) ISBN 978-4560035795			

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。